

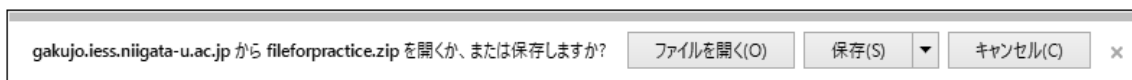
# 新規履修者向け補足説明

## 練習用ファイルのダウンロード

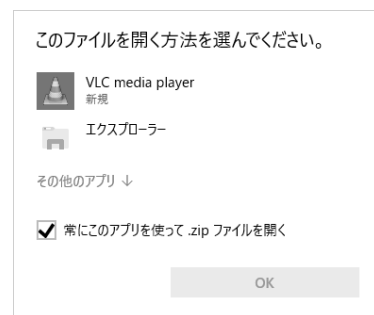
一部の課題ではデータファイルが必要となる。これらは学務情報システムから入手できる。

始めに、各自の USB メモリに情報処理概論など適当なフォルダ名でフォルダを作成しておく。更に、そのフォルダの中に data 及び practice の 2 つのフォルダを作成しておく。

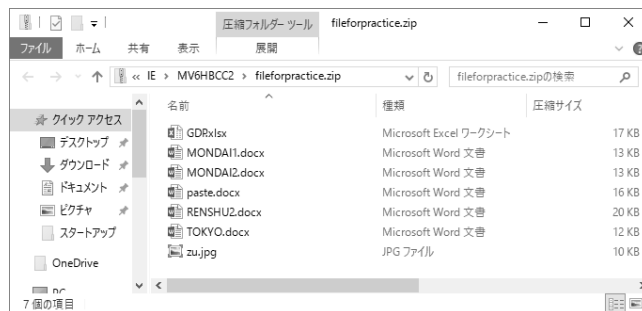
次に、学務情報システムにアクセスし、レポートから「情報処理概論Ⅱ」のレポートの一覧を表示させ、「課題 0」（これは課題提出用ではなく、練習用ファイルを配布するために設けたものである）の右側にある「提出」という部分をクリックする。これで表示される内容の添付ファイルという部分に fileforpractice というものがある。これをクリックするとウインドウ下部に以下が表示される。



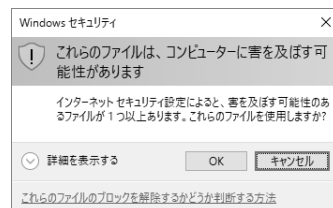
これが表示されたならば ファイルを開く (O) の部分をクリックする。これで右に示すものが表示される。この「エクスプローラー」の部分をクリックし（この部分が青くなる）、OK のボタンをクリックすると、エクスプローラーが起動し、右下に示す内容が表示される。ここに表示されたファイルを使用するので、先ほど USB メモリに作成した data フォルダにコピーする。USB メモリを PC に挿入し、data



フォルダを開く。ファイルのコピーは一つ一つ行ってもよいが、次のようにすると一括してコピーが行える。まず、一番上にあるファイル (GDP.xlsx、ただし、状況によっては表示されるファイルの順番が違っていても構わない) をクリックし、処理の対象とする（水色の地となる）。次に、Shift キー



キーを押しながら、一番下にあるファイル (zu.jpg) をクリックする。これで最初に指定したファイルから、一番下のファイルまで全てが処理対象となり、これら全体が水色の地となる。この状態でドラッグを行い、USB メモリの data フォルダのウインドウに持って行けば、全てのファイルがコピーされるのだが、右の警告が表示される。この警告には OK をクリックすれば、コピーが行われる。これで作業は完了で、fileforpractice.zip のウインドウはそのまま閉じてしまって構わない。



## 学務情報システムを用いた課題（ファイル）の提出

学務情報システムを用いて課題を提出する方法は、「学務情報システム操作概要（学生用）」の p.18～p.21 を参照せよ。一度提出したファイルを出し直す場合は、必ず p.21 の⑥にある取り消し機能を使って、以前に提出したものを取り消してから提出を行うこと。「学務情報システム操作概要（学生用）」は、学務情報システムのトップページ左下のリンクにある「学務情報システム関連情報 Web サイト（学内専用）」をクリックし、開いたページの「1. 新システムの使い方」の所にある「操作概要（学生用）」から見ることもできる。

## Word 文書ファイルの pdf 化

総合練習の自己評価書は pdf ファイルとして提出する。Word の文書ファイルを pdf ファイルに変換するには以下のようにすればよい。

- ① 変換したいファイルを Word に読み込み、**ファイル** エクスポート を指定する。これにより表示は右のようになるので、右側にある PDF/XPS の作成 というボタンをクリックする。



- ② 名前を付けて保存とほぼ同様のダイ

アログボックスが表示されるので、保存先を各自の USB メモリ上の **practice** フォルダなどに設定する。ファイル名を変更する必要はない（変更しても構わない）。ただし、拡張子は pdf となる。これで保存にあたる 発行 (S) のボタンをクリックすれば、pdf に変換されたファイルが指定したフォルダに作成される。

- ③ 別の方法として、**ファイル** エクスポート を指定するのではなく、**ファイル** 印刷 を指定した上で、プリンターを **Microsoft Print to PDF** として印刷を行っても、pdf ファイルを作成することができる（右図）。印刷 をクリックすると、名前を付けて保存とほぼ同様のダイアログボックスが表示されるので、上記②と同様に行えばよい。



- ④ 上記を行った際、右下図が表示されるかもしれない。これは pdf ファイルを開く際にどのソフトを使うかの問い合わせであるが、通常はそのまま OK をクリックすればよい。

これらの手順は大学の学生用 PC で行ったときのものである。各自の PC においても特別な設定 (pdf 化を行うソフトのインストール等) を行っていないければ、上記のように行うことが可能だと思われる。もし変換できない場合は、大学の学生用 PC を利用してもらいたい。

